

### 九州新幹線「つばめ」

最新の技術を用いた新型車両「つばめ」は、通常、6両編成(定員392人)で、最高速度260km/hで走ります。



「つばめ」の車内には、八代産のい草で加工した縄のれんや九州産のクスノキ、桜材など、地域の産物を使用しています。



### 「博多～新八代」間について

- 工事の難しいトンネルや橋りょうなどから整備を進めていて、平成15年度までの事業の進捗率は20% (県内は22%) となっています。  
※総事業費に占める割合
- 地域の活性化など新幹線による効果を、県内全域へ早期に、最大限に発揮させるためにも鹿児島ルート全線の一日も早い完成が必要となります。おおむね平成25年までの全線開業に向け、現在、急ピッチで整備が進められています。



### 肥薩おれんじ鉄道の概要

肥薩おれんじ鉄道は、八代市と鹿児島県川内市を結ぶ鉄道で、風光明媚な海岸線や甘夏などかんきつ類の産地を走り、新幹線とは違った、ゆったりとした旅を味わえるのが魅力です。

沿線地域の皆さんの通勤・通学だけでなく、観光客など多くの方々に利用され、親しまれる鉄道を目指します。

いよいよ3月13日(土) 観光・ビジネスの活性化などに期待がふくらむ九州新幹線 新八代～鹿児島中央間が開業します。また 通勤・通学など地域に密着した公共交通機関として「肥薩おれんじ鉄道」も同時に開業します。今回は 県民の皆さんから大きな注目が寄せられているこの二つの鉄道と、「新幹線を活かしたくまもと創り」について3ページにわたってご紹介します。



新八代駅

新しい駅舎はすべての人が利用しやすいように、多目的トイレや分かりやすい表示板など、ユニバーサルデザイン<sup>®</sup>に配慮しています。

※ユニバーサルデザイン  
年齢や性別、国籍(言語)、障害の有無にかかわらず、すべての人が生活しやすい社会のデザイン



新水俣駅

# 特集 熊本の明るく未来へ向かって出発! 九州新幹線「新八代～鹿児島中央間」・肥薩おれんじ鉄道 3月13日(土) 同時開業!

